

## 2017 町田さくらまつり



恩田川会場 3月25日(出28日)・4月1日(出2日) 2日(出)、芹ヶ谷公園会場 4月1日(出2日) 2日(出)、尾根緑道会場 4月1日(出2日) 2日(出)。いずれも10時～18時(尾根緑道会場の2日は15時30分迄)。今年は、町田市立総合体育館裏の恩田川で桜のライトアップが行われる(3月25日(出～4月2日(出)17時～21時)ほか、4月9日(出)までは「2017町田さくらまつりウィーク」として、市内各所で様々なお祭りやイベントが実施される。入場無料  
町田さくらまつり実行委員会事務局  
042-724-2128

## キラリ☆2016 町田私の好きなお店大賞 決定!



魅力的な店づくりに励むお店を表彰して12年。今回も約2ヶ月の公募により得票数の多い店舗をノミネートし、選考委員の実地審査を経て選定、2016年度受賞店7店が決定した。小売りの部はグラン・ガトー(洋菓子)、ル・ソレイユ(洋菓子)、まぐぼ(チーズケーキ)、飲食店の部はいぶし銀(ラーメン)、武蔵堂(ラーメン)、リッチなカレーの店アサノ(カレー)、Gachiときわ(寿司)、個性豊かな町田のお店に、ぜひ足をお運びください。  
町田商工会議所 042-724-8814

## はなびら市・さくらめぐり



【開催】4月1日(出)～4月2日(出)  
【場所】玉川学園駅前周辺  
さくらを愛でながら街を楽しむ春の恒例企画。1日はポケットパーク、都民銀行前等商店街を中心に、フードコート、街角コンサート、てづくり市や、玉学ゆかりの作家も提供するブックマーケットなどの「はなびら市(11時～18時)」。2日は桜名の由来等を調べて巡るオリエンテーリング、焼き団子をいただきながらお花見もできる「さくらめぐり(13時スタート予定)」を開催。  
芝生の会(藤原) 090-8517-0118

## 横尾忠則 HANGA JUNGLE 展



【開催】4月22日(出)～6月18日(出)  
【場所】町田市立国際版画美術館  
縦横無尽な創作を続ける横尾忠則は1960年代から積極的に版画制作に取り組んでいる。本展は「版画」の枠を超えた彼の作品群を「HANGA」と称し、その創作活動の全貌に迫る。新作を含むほぼ全版画約230点と、これまでポスターと見なされてきた作品約20点を合わせ、約250点を展示する版画の大回顧展。10時～17時(土日は10時～17時30分) 月曜休 一般800円  
042-726-2771

## ひなた村劇団 第37回公演「火縄銃」



【開催】5月13日(出)  
【場所】ひなた村カリヨンホール  
町田市文化事業の一環で17年間開催された初心者演劇教室の卒業生を中心メンバーとするひなた村劇団は、黒柳徹子主演の「一丁目一番地」など数多くの脚本を執筆し、桜美林高校講師も勤めた脚本家・高垣英氏の世界を引き継ぐ者として活動している。今回は、鉄砲伝来に翻弄された人々のたくましくも悲しい物語。開演13時～、16時30分～(開演はそれぞれ開演の30分前) 入場無料  
090-1814-5548 (タキタ)

## 三橋國民氏が描く 記憶の中の町田



【開催】5月22日(出)～26日(出)  
【場所】町田市役所1Fイベントスタジオ  
2007年7月に創刊し、37巻を発行したこれまでの「まちびと」を振り返るとともに、新しい表紙題字を飾る町田市名誉市民、三橋國民氏の作品を紹介。戦前の原町野球チーム「武蔵クラブ」や、青空本屋さんの久美堂、金融援助恩恵の象徴だった町田銀行(後の横浜銀行)、小田急新原町田駅舎など、記憶の中の町田を描いた作品の原画を多数展示する。8時30分～17時 入場無料  
市民協働推進課 042-724-4358

# まちびと写真館 其の六

## 戦前の学び舎 大正15年頃



現在の南第一小学校の授業風景。  
「子どもまんなか主義」が掲げられた校風で子ども達がのびやかに学んでいる。

撮影した場所

南尋常高等小学校  
(現・町田市立南第一小学校)



時代を超えて今に至るもの

南尋常高等小学校は、明治6年に開校(開校)として開校。明治4(1871)年、石坂昌孝や小島鹿之助らが中心となり開校した小野郷学が明治6年3月に開校した後、学制を受けて市域にできた19の学舎の一つだ。明治41年に南尋常高等小学校、昭和16年に南国民学校、昭和22年に南小学校、そして昭和29年に南第一小学校となる。

いち早く運動会を行ったり、柔の栽培を中心に職業教育をして、全国のモデルケースになった。明治27年から6年在職した第8代校長の坂本龍之輔は、自由党の壮士と学校委員派の激しい政争の間で学校を守り抜き、添田知道の「小説教育者」のモデルにもなっている。

大正15年、児童数は423名。明治後期頃から、高等科のなかった成瀬や高ヶ坂、遠くは田奈、大野、大和、瀬谷、川井、長津田などから通う生徒もいたほどで、近村最大の高等小学校になっていた。昭和33年以降、4つの小学校が独立し、現在は17学級、児童数は554名。

黒板に書かれた文字や生徒の着物が時代を彷彿とさせる。社の中も教育現場も当時とは様変わりした。

参考「明治の学び舎」協力 町田市立南第一小学校